



高橋 智之さん(31)
恵里さん(28)
＝胆沢区小山字下野中＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

「うちの麺のツルツルの喉越しはどこにも負けません。全国の人に食べてもらいたい」
——そう熱く語るのは、(株)小山製麺の専務取締役、高橋智之さん。妻の恵里さんは現在育児休暇中ですが、工場に勤務し、同社の三代目を担う予定の夫を支えています。
大学時代、アルバイト先で出会った二人。「頑張っている姿に一目惚れしました」と智之さんははにかみます。4

年の交際を経て、二人は結婚を前提に智之さんの実家がある胆沢へ。「知らない土地での生活に対する不安や、家業を守り続ける責任を大きく感じていました」と当時を振り返る恵里さん。しかし、「家族四世代で支え合って、一緒に暮らせる今の生活がとても幸せです」と話していました。
一方、智之さんも「妻がずっと隣にいてくれるという安心感があります。いつも自然体でいられる」と幸せいっぱいの表情。二人の間には笑顔が絶えず、子どもたちが生まれてからは、いっそうにぎやかな毎日を過ごしているそうです。
「二人で会社を盛り上げた。これから先もいろんなことがあるけれど、一緒に乗り越えて行こう」と語る智之さんに、恵里さんは「いつでも前向きな姿を見習って、一緒に頑張ります」と優しくほほ笑んでいました。

夢トク 54 将来の夢は「一級建築士」



青木 ひろむ 紘夢 くん
(胆沢区・南都田小学校6年)

Interview

——学校での役割は？
図書委員会の副委員長です。委員会の活動で僕が紹介した本を「面白い」と言ってもらえた時は、やってよかったと思いました。
——好きなスポーツは？
野球です。3年生からスポーツ少年団の胆沢ジュニアで頑張っています。ピンチの場面でヒットを打てるのが楽しいです！
——小学校生活の思い出は？
4年生の時、音楽会で合奏と合唱を発表したことです。合奏では小太鼓を担当しました。合唱は声出しが大変だったなあ…。

でも本番はどちらもうまく行って、とてもうれしかったです。
——将来の夢を教えてください。
建築士です。父が二級建築士なので、建築の仕事に憧れました。僕は学校を建てる資格がある、一級建築士を目指しています。
——夢を叶えるために、どんなことを頑張っていますか？
父に図面の見方を教わったり、算数で立方体の勉強を頑張ったりしています。緑がいっぱいの学校を建てて、将来、自分の子どもにも通ってほしいです。

青春讃歌 18

水沢農業高校 自転車競技部



- ◎部員数 5人
- ◎監督 井上一貫先生
- ◎顧問 西出和久先生
佐々木裕大先生
- ◎主将・部長 平剛君(2年)

先輩を追いかけてインターハイ出場を目指す

自転車単なる移動手段と思うなかれ。自転車競技は、強い精神力と脚力、時に高い技術力を要する過酷な競技です。県内で自転車競技部のある高校は4校。そのうちの1つが、水沢農業高校自転車競技部です。冬の間は筋力トレーニングに励み、2月下旬からロードワークを開始。平日は授業が終わってから50km以上、土日は120kmほども走行するといいます。



IHを目指し日々ロードに繰り出す

平成28年に開催される希望郷いわて国体に向け、1年生は県の強化選手に指定されています。しかし、きつい練習に耐え、彼らを奮立たせる要因は国体だけではあ

りません。最も大きな原動力となっているのは、昨年インターハイに出場した2・3年生の存在でした。卒業後、自転車の専門学校に進学するという及川優君(3年)は「全国どこでも自転車競技は高校からしかない。だからどんな相手にも勝てる可能性がある」と話し、「とにかく全力で」と後輩たちにエールを送ります。唯一の2年生、平剛君は県大会の複数種目で軒並み1位を獲得し、インターハイに出場。1年生は「先輩に負けないように」「2年生と少しでも長く一緒にいられるように」と、練習に打ち込んでいます。「国体ももちろんだが、まずは毎年インターハイを狙いたい」と語る井上監督。副主将の朝倉雄君(1年)は「プレッシャーもあるけれど、それに負けず全力で頑張る」と期待を背負い、先輩の背中を追いかけます。



が11年連続20回目の最高評価「特A」となりました。胆江を中心に良質な米の産地であることが証明され、また、農家の米づくりへの情熱が実りうれしい限りです。今後も県販路拡大を目指します。

先月は胆沢区の冬の一大イベント「全日本農はだてのつどい」が開催されました。庭田植の再現や大白を使った福餅つき、クライマックスの福俵引きなど、多彩な催しで胆沢の地に福を呼び込みました。これから始まる農作業の安全と豊作を切に願います。

また、前沢と胆沢の市民劇も開催されました。奥州前沢劇場「そもさん！ 束稲山に桜咲く」は赤生津地区を舞台に家族の絆を描いた現代劇、奥州胆沢劇場の「黄金の稲穂」は同区の二ノ台堰を題材に難工事に挑んだ村人の物語です。キャストやスタッフが一丸となって熱演し、会場は涙と感動に包まれました。今後も続けていただき、まちづくりの一助になることを期待します。平成26年産米の食味ランキングで、県南地区ひとめぼれ

「食の黄金文化・奥州料理コンクール」の表彰レセプションが開催され、全国49人の応募から三重県の高松2年嶋垣萌恵さんの「はなやか岩手の松花堂弁当」が最優秀賞に輝きました。前沢牛、江刺金札米など市産食材をふんだんに使い、彩りや味付けを工夫した力作。市のブランド食材を引き出す料理が広がり、PRにつながることを期待します。市内の食材や食文化を紹介するPR動画が完成し、動画投稿サイトYouTube Tubeに公開しました。市内の食材を交えたドラマ仕立ての作品で、大谷翔平選手が声で出演しています。動画はYouTube Tubeの「奥州市」チャンネルで閲覧できます。ぜひご覧ください。

奥州市長 小沢昌記